THEME 5

テーマ 5

社会と未来につながる貢献の輪を広げます

ありたい姿

地域社会・日本社会 ›› 地域社会と共生・連携し、未来の夢のテクノロジーを担う次世代の育成を支援します

国際社会 ›› 世界の国々の文化を尊重し、技術や人財の育成を通じて豊かさの実現に寄与します

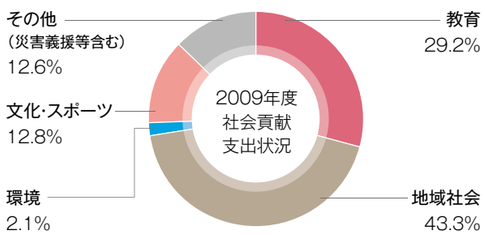
社会貢献支出について

2009年度社会貢献支出状況

川崎重工グループは、日本経済団体連合会の1%（ワンパーセント）クラブに設立当初の1990年から加入しています。

同クラブの趣旨は、経常利益の1%相当額以上を自主的に社会貢献に支出することに努めるというものですが、当社の実績は、例年この目標を上回っています。

各種寄付金のほか、自主プログラムとして、企業ミュージアム「カワサキワールド」の運営と主に子供を対象とした各種のイベント開催、地域社会の振興への協力、企業の森づくり活動などを行っています。



カワサキワールドによる次世代育成について

川崎重工グループは次世代育成にも貢献しています

当社は、2006年5月に企業ミュージアム「カワサキワールド」をオープンしました。「技術の素晴らしさ」「ものづくりの大切さ」を一人でも多くの方に体感していただくため、そして地域の皆様とのコミュニケーションを深めるために設立した施設です。当社が歩んできた110年以上の歴史や、時代の変化を的確に捉え、最先端の技術で社会の発展に貢献してきた陸・海・空にわたる代表的な製品を紹介しています。

この「カワサキワールド」では、地域社会とのコミュニケーション活動の一環として、また「次世代育成」の一環としてもさまざまなイベントも開催しています。

親子で作ろう!夏休み工作教室

2009年8月に開催しました。カワサキワールドのホームページから応募いただいた親子30組が参加し、プロペラ飛行機の組み立てに挑戦しました。

カワサキBK117 ヘリコプタ体験飛行

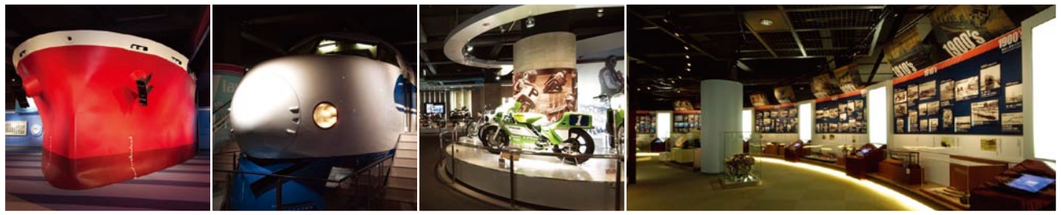
2010年7月に開催。カワサキワールドにご入場いただいた方を対象に抽選で2日間合計約650名様に神戸上空5分間の旅を楽しんでいただきました。合わせて、紙トンボの工作教室も開催しました。

第7回鉄道模型走行会

恒例の鉄道模型走行会を2010年3月に開催しました。2日間で3,800名以上のお客様にご来場いただきました。会場では親子で ペーパークラフト工作も実施されました。

神戸市立小学校 校外学習の場として提供

校外学習の場として数多くの小学生がカワサキワールドを訪れて、当社の製品技術やものづくりに対する興味を持っていただきました。



column コラム

J1サッカークラブ「ヴィッセル神戸」ソーシャルシート

スポーツを通じて青少年の健全な育成と地域の発展に貢献したいとの思いから、J1サッカークラブ「ヴィッセル神戸」を、1995年発足時より公式スポンサーとして応援しています。

©ヴィッセル神戸

さらに、震災遺児や各施設の子供たちをヴィッセル神戸のホームゲームに招待するソーシャルシートを提供し、社会福祉貢献やスポーツ振興にも寄与しています。

『サイエンスフェア in 兵庫』出展

「広げよう、交流の輪。見つけよう、将来の自分」

兵庫県のスーパーサイエンスハイスクール6校の主催により、「第2回サイエンスフェアin兵庫」が行われました。高校生たちが理科分野の研究発表をする場に、当社も協力出展して製品や技術の紹介を行いました。「理科の宝箱」のような資源を活かして、このような場でも次世代の育成に貢献していきます。

中国での人財育成奨学

プラント・環境カンパニーは、中国安徽省蕪湖市において、安徽海羅川崎工程有限公司（ACK）と安徽海羅川崎節能設備製造有限公司（CKM）の両合弁事業の運営を行っております。合弁のパートナーである「中国安徽海螺創業投資有限公司」との合意により、2008年度以降、合弁企業を通じ毎年100万人民元を奨学金として蕪湖市に寄付しています。蕪湖市では、優秀な学生の奨学のためにこれを用い、同市の一層の人財育成の促進を図っています。

AEDによる人命救助

カワサキプレシジョンマシナリ（現:精密機械カンパニー）の3名が人命救助の功績により2010年7月に神戸市「花時計賞※」を受賞しました。

同年4月に神戸市西区の工場敷地内にて取引先会社の男性が突然倒れ、心肺停止状態になったところを社員が発見しました。直ちに119番通報するとともに、連携して的確かつ有効な心肺蘇生法と備え付けのAEDによる除細動を実施したことにより一命を取り留めることができました。

※花時計賞…神戸市長が市民の行った日常生活における善行その他表彰に値する行為を表彰し、善意を社会に広め、もって、しあわせなくらしをつくる一助とすることを目的とする市民表彰。

左から安達晴夫、迫久美子、角田芳浩